



令和5年9月15日
海上保安庁

海上保安学校「情報システム課程」の改編等について

～巡視船・航空機等の通信士を安定的に確保するための取組～

巡視船・航空機等の通信士を安定的に確保するため、令和6年秋に実施される海上保安学校学生採用試験から、「情報システム課程」を廃止し、通信士としての専門教育により重点を置いた「通信コース」を現行の「船舶運航システム課程」に設置するとともに、「船舶運航システム課程」の名称を「一般課程」に、「整備コース」の名称を「航空整備コース」に変更する予定です。

改編後の課程・コース等

課程名	内容
<u>一般課程</u> (1年)	巡視船艇・航空機の運航等を行う海上保安官を養成する課程 ・航海コース：船舶の運航・操船 ・機関コース：船舶の機関の運用・保守 ・ <u>通信コース</u> ：船舶又は航空機での通信運用・保守 ・主計コース：船舶での調理・経理等 ・ <u>航空整備コース</u> ：船舶又は航空基地での航空機の整備及び搭乗
<u>情報システム課程</u> (2年)	<u>(廃止)</u>
管制課程 (2年)	海上を行き交う船舶の動静を把握し、航行管制や情報の提供を行う海上保安官を養成する課程
海洋科学課程 (1年)	航行の安全を確保するために海洋に関する必要なデータを収集・解析し提供する海上保安官を養成する課程
航空課程 (1年)	航空機（固定翼又は回転翼）のパイロットとなる海上保安官を養成する課程

※下線部が変更箇所

2024年度海上保安学校学生採用試験のスケジュール（予定）

- 申込受付期間：令和6年 7月頃
第1次試験：令和6年 9月頃
第2次試験：令和6年 10月頃
第3次試験：令和6年 12月頃（航空課程のみ）

※「2024年度海上保安学校学生採用試験」の詳細については、令和6年6月中旬頃に人事院及び当庁のホームページにおいて公表予定です。

海上保安庁ホームページ：<https://www.kaiho.mlit.go.jp/>

1 海上保安学校とは？

海上保安学校は、海上保安業務に必要な学術と技能の修得、併せて心身の錬成を行い、実践に即応できる海上保安官の育成を目的に設置された海上保安庁の教育機関です。

採用された者は、海上保安学校において、海上保安学校学生として1～2年間の教育を受けることになります。

2 通信コースの教育内容は？

他の課程・コースの学生と同様、初任の海上保安官として海難救助を始めとした業務対応に必要な知識・技能を習得するほか、巡視船及び航空機の通信士として必要な知識・技能を習得します。

また、卒業後に、通信施設の保守・管理等に必要な知識・技能等を習得するための研修を受講します。

3 卒業後の進路は？

卒業後は、通信科職員として巡視船・航空機等に取り組み、領海警備、海難救助、海上犯罪の取締り、海上交通の安全確保、海上災害および海洋汚染防止などの業務にあたります。

また、管区本部、海上保安部等における陸上勤務もあり、情報通信システムの整備・管理や船舶交通の安全確保、灯台等の航路標識の管理といった業務にあたることもあります。

4 採用試験は？

国家公務員採用試験（高卒程度試験）のうち、海上保安学校学生採用試験※として実施されています。

「通信コース」に進むには、同採用試験のうち、「一般課程」を受験する必要があります。試験種目は、第1次試験において、基礎能力試験（多肢選択式）及び作文試験が行われ、第2次試験において、人物試験、身体検査、身体測定及び体力検査が行われます。

「一般課程」は、最終合格者の中から採用試験の成績や本人の希望を勘案した上でコースが決定されます。

※ 「一般課程」のみを対象とした海上保安学校学生採用試験（特別）もあります。

なお、海上保安学校学生採用試験（特別）の最終合格者が「通信コース」を希望することができるのは2025年度試験からとなります。